

The Eyes

— 土門拳が撮った眼 —

2024年7月19日 [金] → 10月22日 [火]

たとえ小さくても軽くても
視線の強いものが、
ぼくの被写体として残る



《「恋女房染分手綱」重の井（かしらは老女形）》1941年

写真家・土門拳（1909-1990年）が撮影した多様な“眼”に焦点をあてる展覧会を開催いたします。

20世紀日本のドキュメンタリー写真を代表する『ヒロシマ』（1958年）や『筑豊のこどもたち』（1960年）には、被写体となった人々の眼が印象的な作品が数多く含まれています。何かを強く求め訴えかけてくるような眼があれば、時には現代の私たちの在り方を問うような深く静かな瞳もあります。昭和の著名人たちの肖像を収めた『風貌』（1953年）シリーズでは、激動の時代を切り拓いていった者たちの才気あふれる眼差しに、時を超えて対面することができます。『文楽』（1972年）や『古寺巡礼』（1963~1975年）といった写真集では、日本美術史の中で生み出され、継承されてきた個性的な眼の造形の数々が、土門特有のクローズアップ撮影によって鮮やかに切り撮られてきました。

「ぼくは被写体に対峙し、ぼくの視点から相手を睨みつけ、そして時には語りかけながら被写体がぼくを睨みつけてくる視点を探る。そして火花が散るといふか、二つの視点がぶつかった時がシャッター・チャンスである」と書き残しているように、彼が写した多くの“眼”には、被写体そのものの発するメッセージと、土門自身の思想の両方が反映されているといえるでしょう。眼の中に刻まれた時代と、今も生き続ける記憶を感じていただければ幸いです。

会期の後半には一部展示替えを行い、今年で30回目を迎える「酒田市土門拳文化賞」の受賞作品展と、地元・庄内地域にゆかりのある若手写真家 / 美術家の作品とともに土門拳を再考する、初の試みとなるグループ展「KDMoP Shonai Photo Meeting - リミックス土門拳 -」を順次開催いたします。

●同時開催●

8月30日（金）～9月24日（火）第30回酒田市土門拳文化賞受賞作品展

9月27日（金）～10月22日（火）KDMoP Shonai Photo Meeting - リミックス土門拳 -

庄内の作家による新しい写真 / 美術展

関連イベントも多数！

詳しくは次ページにて



9:00～17:00（入館は16:30まで） / 会期中の休館日 8/29（木）、9/25（水）～26（木）

入館料 一般800円 / 高校生400円 / 中学生以下無料

土門拳記念館
Ken Domon Museum of Photography

2025年4月、土門拳記念館の呼称が
「土門拳写真美術館」に変わります。

〒998-0055 山形県酒田市飯森山2-13 飯森山公園内

<http://www.domonken-kinenkan.jp/>

[Tel] 0234-31-0028

[Mail] kedomon.mop@gmail.com（田中）

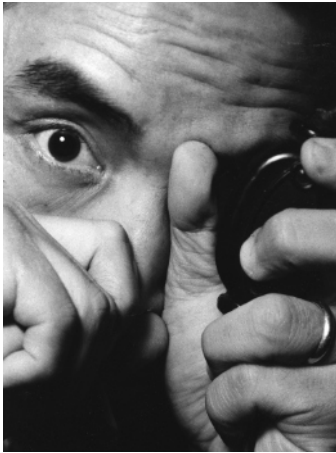
画像提供や詳細情報に

関するお問い合わせは、

左記までご連絡ください。

Press Release

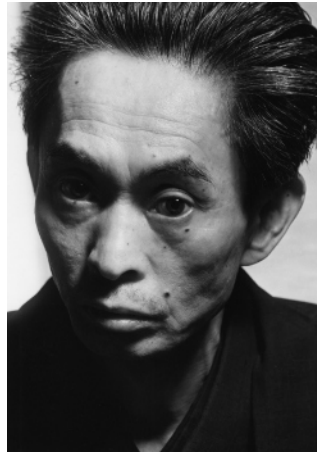
●土門拳記念館の新しい展覧会情報をお知らせします●



《肉体に関する八章 第八章
誰がために心の窓を開きたる》1948年



《埴輪頭部》



《川端康成》1951年



《室生寺金堂丑神（十二神将のうち）面相左》
1965～1966年頃

●会期中のイベント

カメラ・オブスクラ in 土門拳記念館

7/19（金）～10/22（火）

参加無料（要入館料）

ラテン語で「暗い部屋」を意味する「カメラ・オブスクラ」は、真っ暗な部屋の壁に孔が穿たれると、漏れ入る光によって外の景色が反対側の壁に自然に像を結ぶ現象です。17世紀になると画家の描画補助具としても用いられ、現在使われている「カメラ」という言葉の語源になりました。今回は土門拳記念館の屋内に逆さまの拳湖や周辺の景色を映し出します。鳥海山も見えるかもしれません。



カメラ・オブスクラ@金津創作の森美術館 / ©佐藤時啓

ピンホールカメラ教室

7/20（土）①9:30ー / ②13:00ー

要予約

協力：（公社）日本写真協会

荘内銀行ふるさと創造基金 助成事業

ナイトミュージアムコンサート（ハーモニカ）

7/27（土）19:00ー

要予約 / 参加無料（要入館料）

「夏の夜のハーモニカコンサート」

出演：ほんわか かな

ミュージアムコンサート（ハンマーダルシマー）

8/31（土）14:00ー

要予約 / 参加無料（要入館料）

「ハンマーダルシマーで奏でる音のスケッチ」

出演：三船しのぶ

開館記念日無料開放 10/1（火）

秋のミュージアムコンサート（リュート・リコーダー）

10/5（土）15:00ー

要予約 / 参加無料（要入館料）

「ほっと…そっと…秋の安らぎに 優しい樹の音色」

出演：さな ぷーら

一般公募写真展 第19回「わたしのこの一枚」写真展

募集 8/10（土）～9/16（月・祝）

展示 10/8（火）～22（火）

どなたでも参加できます！

KDMoP Shonai Photo Meeting

参加作家によるギャラリートーク

9/28（土）14:00ー

要予約 / 参加無料（要入館料）

学芸員によるほぼ月イチギャラリートーク

8/17（土）、9/14（土）いずれも14:00ー

要予約 / 参加無料（要入館料）

土門拳記念館

Ken Domon Museum of Photography

2025年4月、土門拳記念館の呼称が
「土門拳写真美術館」に変わります。

〒998-0055 山形県酒田市飯森山2-13 飯森山公園内

<http://www.domonken-kinenkan.jp/>

[Tel] 0234-31-0028

[Mail] kendomon.mop@gmail.com（田中）

画像提供や詳細情報に

関するお問い合わせは、

左記までご連絡ください。

THE EYES

土門拳が撮った眼

たとえ小さくても軽くても
視線の強いものが、ぼくの被写体として残る



2024 7/19^{FRI} — 10/22^{TUE}

開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで) 入館料／一般800円、高校生400円、中学生以下無料

会期中の休館日／8/29木、9/25水～26木

同時開催

8/30^金～9/24^火

第30回酒田市土門拳文化賞受賞作品展

9/27^金～10/22^火

KDMoP Shonai Photo Meeting -リミックス土門拳-

庄内の作家による新しい写真／美術展

土門拳記念館

Ken Domon Museum of Photography

山形県酒田市飯森山2-13(飯森山公園内) TEL 0234-31-0028

<http://www.domonken-kinenkan.jp/> info@domonken-kinenkan.jp

*2025年4月、土門拳記念館の呼称が「土門拳写真美術館」に変わります。

写真：《恋女房染分手綱 垂の井》1941年(部分)

THE EYES

土門拳が撮った眼

写真家・土門拳が撮影した多様な“眼”に焦点をあてる展覧会を開催いたします。

ドキュメンタリーの傑作『ヒロシマ』や『筑豊のこどもたち』で被写体となった人々の眼に宿る光は、とても印象的です。何かを強く求め訴えかけてくるような眼があれば、現代の私たちの在り方を問うような深く静かな眼差しもあります。昭和の著名人たちの肖像を収めた『風貌』シリーズでは、激動の時代を切り拓いた者たちの才気あふれる視線に、時を超えて対峙できます。『文楽』や『古寺巡礼』といった作品では、日本美術史の中で生み出されてきた個性的な眼の造形の数々が鮮やかに切り撮られています。

土門拳が撮った膨大な“眼”の中に刻まれた時代と、今も生き続ける記憶を感じていただければ幸いです。

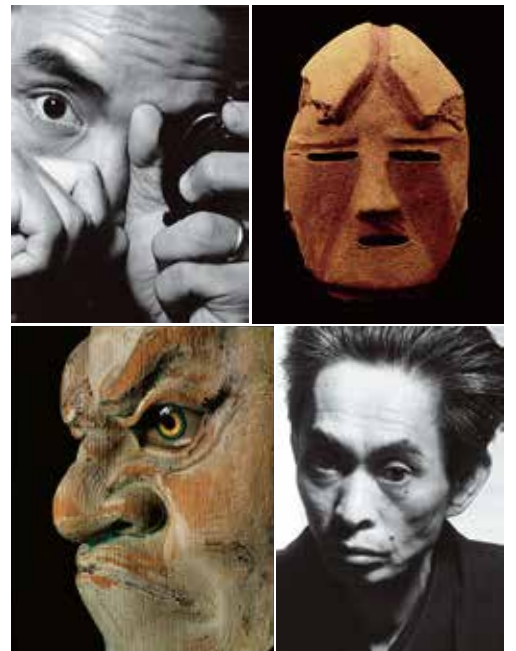
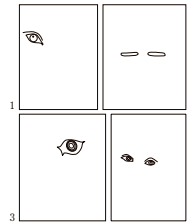
会期後半には一部展示替えを行い、今年で30回目を迎える酒田市土門拳文化賞の受賞作品展と、地元・庄内地域にゆかりのある若手写真家／美術家の作品とともに土門拳を再考するグループ展「KDMoP Shonai Photo Meeting ーリミックス土門拳ー」を順次開催いたします。

ぼくは被写体に対峙し、ぼくの視点から相手を覗みつけ、そして時には語りかけながら被写体がぼくを覗みつけてくる視点を探る。そして火花が散るといふか、二つの視点がぶつかった時がシャッターチャンスである。



《「恋女房染分手綱」重の井（かしらは老女形）》1941年

- 1 《肉体に関する八章 第八章 誰がために心の窓を開きたる》1948年
- 2 《埴輪頭部》
- 3 《室生寺金堂丑神（十二神将のうち）面相左》1965～1966年頃
- 4 《川端康成》1951年



関連イベント

カメラ・オブスクラ in 土門拳記念館

7/19 (金) - 10/22 (火) 参加無料 (要入館料)

ラテン語で「暗い部屋」を意味する「カメラ・オブスクラ」は、真っ暗な部屋の壁に孔が穿たれると、漏れ入る光によって外の景色が反対側の壁に自然に像を結ぶ現象です。17世紀になると画家の描画補助具としても用いられ、現在使われている「カメラ」という言葉の語源になりました。今回は土門拳記念館の屋内に逆さまの拳湖や周辺の景色を映し出します。鳥海山も見えるかもしれません。



カメラ・オブスクラ
@金津創作の森
美術館
©佐藤時啓

ピンホールカメラ教室

7/20 (土) 14:00 - 要予約

協力：(公社)日本写真協会
荘内銀行ふるさと創造基金 助成事業

ナイトミュージアムコンサート(ハーモニカ)

7/27 (土) 19:00 - 要予約 参加無料 (要入館料)

「夏の夜のハーモニカコンサート」

出演：ほんわかかな

学芸員によるほぼ月イチギャラリートーク

8/17 (土)、9/14 (土) いずれも14:00 -

要予約 参加無料 (要入館料)

ミュージアムコンサート(ハンマーダルシマー)

8/31 (土) 14:00 - 要予約 参加無料 (要入館料)

「ハンマーダルシマーで奏でる音のスケッチ」

出演：三船しのぶ

開館記念日無料開放

10/1 (火)

秋のミュージアムコンサート(リュート・リコーダー)

10/5 (土) 15:00 - 要予約 参加無料 (要入館料)

「ほっと…そっと…秋の安らぎに優しい樹の音色」

出演：さな ぶーら

一般公募写真展

第19回「わたしのこの一枚」写真展

募集 8/10 (土) - 9/16 (月・祝)

展示 10/8 (火) - 22 (火)

どなたでも参加できます!

KDMoP Shonai Photo Meeting

参加作家によるギャラリートーク

9/28 (土) 14:00 - 要予約 参加無料 (要入館料)